自然豊かな神秘の沼 - 化女沼 -

この秋、ラムサール条約湿地として世界に羽ば たいた「化女沼」。

化女沼は、古川地域北西部にある自然湖をもとにしてつくられたダム湖で、昔から灌漑用のため池として大切に維持されてきました。かつては化女沼を「こめびつ」と呼んでいた地域もあり、この沼での漁と用水源が、人々の生計上とても重要な役割を占めていたことがうかがわれます。

水面にはハスやヒシなど水辺の植物が浮かび、 夏にはトンボ、冬にはハクチョウやヒシクイが飛 来します。近くには高速道路が走り、ダムとして 周辺の開発が進んでも、これほど多くの自然が残っ ているのはすばらしいことです。

周辺には「化女沼古代の里」や「ピクニックエ リア」などの公園があり、散策路も整備され、市 民の憩いの場となっています。

化女沼には平成のはじめころまで、「けじょぬま」と「けしょうぬま」という2つの呼称があり、両方使われていましたが、ダムの完成を機に「けじょぬま」とされました。

所在地名は、美しい長者の娘にまつわる伝説が数多く伝わる「長者原」です。旅の若者と娘との悲恋の物語、沼の中から機を織る音が聞こえてくるという機織伝説、毎日水面を鏡にして化粧をしていたので「けしょう沼」、天女伝説、など・・・。

渡り鳥の楽園として注目を集める化女沼は、多 くの伝説とともに、四季折々に神秘的なたたずま いも見せてくれます。



①悲恋の物語のヒロイン、照代姫 ②豊かな自然、ノショウブ ③ヒシクイの好物「ヒシ」 ④水面を覆うハスの花 ⑤夕日を写して輝く湖面 ⑥静かにたたずむ化女沼、奥羽山脈の稜線も遠くに美しい





